

事業名【担当課】

39.放課後児童クラブ事業【子ども未来課】

全体に対する意見・提案等

事業意図の再検討を行って、公平なサービスが提供できるように工夫をお願いします。

成果指標である加入希望者の受け入れ割合は毎年、わずかではあるが目標に達していない。すべての希望者が加入できることが必要ではあるが、9カ所の「放課後児童クラブ」だけでの対応は困難である。また、保護者のニーズも多様である。毎日19時までの保育を希望する場合もあれば、週何日かの希望の場合もある。細かなニーズ調査が必要であり、その上で既存の放課後児童クラブ・学童保育での受け入れ、放課後児童健全育成事業の検討による放課後子ども教室での受け入れ等が考えられる。その際、学童保育への支援や放課後子ども教室での「保育」のあり方を検討し、保護者の負担の格差や保育内容の格差を生まないようにすることが求められる。

市長のポリシーである「福祉のまち長久手」を基本指針として取り組んでいただきたい。

課題に対する意見・提案等

放課後に、一人留守番になる児童の居場所提供のための事業で、該当する保護者や児童にとってはその意義は大きい。加入希望者を全員受け入れることを目標に、加入受け入れ割合を指標とすることは妥当である。設置場所やスタッフの人員不足のため、受け入れ可能総数を増やせないのであれば、運用でカバーするしかない。検討中の児童クラブと学童保育所の一体化は、それぞれの位置づけが異なるため困難というのであれば、双方の特徴を組み合わせ運用するのが効果的かと考える。具体的には、個人ごとに児童クラブと学童保育所の通所曜日を分ける等、もう少し個々の事情に応じた通所許可を与える方策を検討してはどうかと考える。

「住みたくなる街 長久手」が継続できるよう、諸課題に取り組んでほしい。預かり場所の不足に対しては小学校の空き教室の活用。働き手の不足に対しては大学生の活用等を視野に入れてはどうか。

需要と供給のバランス、人手不足など様々な問題が山積みされているが、市民が納得できる説明をしながら少しずつでも改善していく必要があるのでは。入所案件をもう少し分かりやすく具体的に設定すると良いかと。人手不足に関しては、募集する際に応募しやすいPRを工夫してみるとよい。(例：資格がなくても4日間の研修を受講すれば大丈夫など)